

みずほCustomer Desk Report 2018/03/27号 (As of 2018/03/26)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	104.96
TKY 9:00AM	104.85	1.2355	129.54	GBP/USD	1.4148
SYD-NY High	105.48	1.2461	131.36	AUD/USD	0.7710
SYD-NY Low	104.65	1.2347	129.32		
NY 5:00 PM	105.40	1.2441	131.27		
NY DOW	24,202.60	669.40	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,220.54	227.88	日本10年債	0.0200	0.00bp
S&P	2,658.55	70.29	米国2年債	2.2725	1.67bp
日経平均	20,766.10	148.24	米国5年債	2.6393	3.74bp
TOPIX	1,671.32	6.38	米国10年債	2.8511	3.84bp
シゴ日経先物	20,725	510.00	独10年債	0.5205	▲0.30bp
ロンドンFT	6,888.69	▲33.25	英10年債	1.4380	▲0.60bp
DAX	11,787.26	▲99.05	豪10年債	2.6480	▲0.95bp
ハンセン指数	30,548.77	239.48	USDJPY 1M Vol	7.85	▲0.51%
上海総合	3,133.72	▲19.04	USDJPY 3M Vol	8.29	▲0.36%
NY金	1,355.00	5.10	USDJPY 6M Vol	8.50	▲0.28%
WTI	65.55	▲0.33	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	195.77	▲0.49	EURJPY 3M Vol	8.65	▲0.27%
ドルインデックス	89.03	▲0.46	EURJPY 6M Vol	8.95	▲0.20%

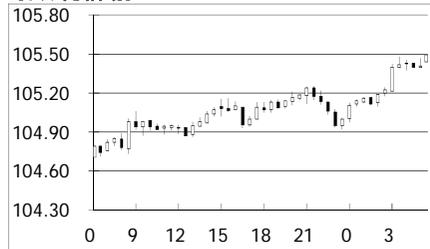
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月26日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	2月 0.88	0.15
	23:30	米 ダラス連銀製造業活動指数	3月 21.4	33.5
3月27日	01:30	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁講演 「規制当局、銀行幹部への対応に一層注力を」		
	05:30	米 マスター・クリーブランド連銀総裁講演 「緩やかな利上げ継続が望ましい」		

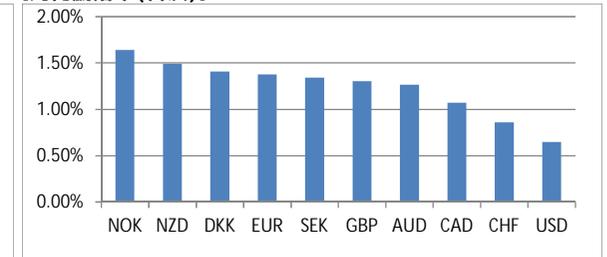
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月27日	18:00	欧 消費者信頼感指数(確報)	3月 0.1	0.1
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	3月 22	28
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感指数	3月 131.0	130.8
3月28日	00:00	米 ボスティブ・アトランタ連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.00-106.00	1.2400-1.2500	131.00-132.00

【マーケットインプレッション】

昨日、海外時間のドル円は上昇する展開。米中貿易戦争を巡るリスクが後退し、米株が大幅上昇。リスクセンチメントが改善する中、米金利上昇・株高を背景にドル円は105.48まで上昇した。本日のドル円は上昇する展開を予想する。海外時間の流れを引き継ぎ、本日の日経平均株価は大きく上昇する展開が想定され、堅調なリスクアセットを背景にドル円は底堅い推移を見込む。但し、本日は衆参両院で「森友学園問題」を巡る佐川氏の証人喚問が予定されており、安倍政権遅延リスクが高まる状況となれば条件反射的に円買いが進むリスクには注意が必要だろう。

東京	東京時間のドル円は105円前半に上昇した。シゴ時間は先週末の流れを引き継ぎ円買いが優勢となり104.65まで値を下げる場面も見られたが、東京時間は104.85レベルにてオープン。ドル円下落一巡後は仲値にかけて買戻しが優勢となり一時105円前半まで上昇した。その後は104円後半に値を戻す場面も見られたが、午後に入ると日経平均がブラス圏に浮上したこともありドル円も再び105円台に上昇し、105.04レベルにて海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は105.04レベルでオープン。週末にムニッヒン市長の「中国との貿易をめぐる合意を期待する」との発言が報じられる等、貿易問題が引き続き燃焼中、105円を挟んでもみ合い、105.14レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.2365レベルでオープン。特段目立ったヘッドラインがなく、今週末にイースター休暇を控える中で月末の70-により1.2417まで堅調に推移。1.2407レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.4156レベルでオープン。ユーロ高に連れて上昇する展開となり、1.4228レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では、米メディアでムニッヒン米財務長官が中国との貿易交渉を示唆したことを受け、貿易戦争警戒モードがやや緩和されドル円は105円台を回復し、105.14レベルでNYオープン。米株先物が上昇したことから、加ドルにサポートされドル円も105.25まで上昇。しかし、「中国が米国の鉄鋼・アルミ関税を巡りWTOに提訴」、「中国、関税賦課による貿易損失の補償を米国に求める」とのヘッドラインや、トランプ米大統領がEUに協調しロシア外交官60人に対し米国外退去ならびにシリアのロシア領事館閉鎖を命じたことが明らかになったことから、高値寄りしたダウが反落、米金利も低下基調となり、ドル円は105円を割り込み104.92まで下落した。その後、再びダウや米金利が切り返す動きにドル円も反発し、朝方の高値を上抜けストップを巻き込みながら高値105.48まで急伸し、105.40レベルでクロスした。なお、複数の中朝関係筋の情報として北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長が中国を訪問しているとの報道が流れたが、ホワイトハウスはNY午後、「金委員長は訪中、確認できない」とコメントしている。一方、1.2407レベルでNYオープンしたユーロドルは、ECBメンバーのハイトマン独連銀総裁による「2019年半ばに利上げが開始されるとの予測は非現実的ではない」、「ECBの金融政策正常化は早急に開始すべき」とのコメントも材料視され堅調に推移。短期的なレンジスタンスとなっていた1.2380レベルを明確に上抜けると、今月14日以来となる1.24台を示現し高値1.2461まで上昇。NY終盤は小動きとなり1.2441レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:西谷・森谷